

かけはし

昭島市立富士見丘小学校 令和 4 年 7 月 20 日
校長だより No. 26 稲垣 達也



安全で 楽しい 夏休み を過ごすために…

この1学期も、本校の教育へ御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。おかげさまで、子供たちは元気いっぱい、楽しい学校生活を送ることができました。今年の夏休みもコロナ禍の生活が続きそうですが、子供たちにとって有意義で、豊かな夏休みとなりますよう、よろしく願い申し上げます。新学期を元気に迎えられるようにお過ごしください。

夏休み中も困った時は、御相談ください！

学校以外の相談窓口 [📞](#)

新型コロナウイルス感染症、自然災害、交通事故、ネットのトラブル、不審者等々から命を守るためには、事前の備えが必要です。困った時は御相談下さい（**在校時間 8:05~16:35**。土日祝と8/8~8/11は閉校日）。

いじめ 悩んでいたら、いつでも相談してください。どの先生でもOKです。 QR 考えよう いじめ・SNS	自然災害 自分の命を守り、身近な人の命を助ける。防災教育ポータル。 QR 防災ノート ～災害と安全～	交通事故 子供の事故のほとんどが自転車によるもの。ゲーム感覚で学ぼう。 QR 危険予測 トレーニング	情報モラル スマホやネット等によるトラブルが急増。重大な人権侵害も！ QR1 QR2 QR3 QR4 SNS 東京ノート等	不審者対策 子供を犯罪から守るチェックポイント。親子で一緒に確認。 QR 防犯チェック ポイント	コロナ防止 感染症防止策の徹底とともに、屋外で元気に遊んで丈夫な体を作ろう。 QR 感染症対策 チェックポイント
---	--	--	---	--	--

ところで… カーナビは、何をもたらしたか？

教育の情報化が進展していく中で、初等教育段階の子供たちの健全な発達の上で、デジタルとアナログの特性を踏まえた効果的な教育活動を行うことが大切です。そのため本校では、ネット依存の危険性を考慮するとともに、情報モラル教育を推進しながら、ICTを適切に活用する力を育てています。

〔カーナビがなかった時代は…〕

出かけるとき:紙の地図を広げる。→ 縮尺の異なる地図を頭の中で重ねながら、大体の距離や方向を確認する。→ 途中で立ち寄る場所や休憩など含めて、最適なルートを決め、所要時間を推測する。→ 標識等の様々な情報から、走行中の位置を認識しながら走る。→ ラジオで渋滞情報を聞いて、助手席の人が地図を見てナビをしたり、相談したり、時には口論しつつ、ルートを修正しながら走る。

昔

これらの活動には…
(論理的思考、コミュニケーション、感性・情緒としての)言語能力、情報活用能力、課題解決力が不可欠でした。相手を思いやる心や寛容な気持ちも大切でした。

「課題解決」の場が生活の中にあふれており、日常的に様々な課題に向き合い、解決していたのです。

今

しかし、今では…

カーナビがなければ、目的地に着けないのでは…。
スマホがなければ、意思疎通が図れないのでは…。

使い方を間違えると

「ネット検索で分かったつもり」「ググって解決」…、ICTが子供たちの考える力や思いやり、モラルさえ奪うことになってしまう危惧が…。

〔携帯電話がなかった時代は…〕

待ち合わせるとき:事前に日時や場所等を約束する。→ そのためにはお互いが知っている場所や分かりやすい場所を選ぶ。→ 遅れそうになった場合の連絡手段を確認する。→ 遅れないよう行動する。→ 相手が遅れてもイライラせずに気長に待つ。

だから本校では【**ふじみ GIGA School スマート・ツール**】

ICTの利便性に依存することなく、1人1台端末を、教員は“賢い教具”として指導に活用し、子供たちは“賢い文房具”として、主体的・協働的で深い「学びの道具として」役立てています。

夏だ！ 読書だ！ 探究だ！

今年の夏は、読書です！ 自分の体験や疑問などを出発点として、未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出す「調べる学習」と「読書感想文」に全学年で取り組みます。

例年の自由研究はありませんので、読書と探究に焦点を当て、時間をかけて掘り下げてみましょう。



【ふじみ探究ノート】

「ふじみ探究ノート」は、多彩な読書や学習を支える場としての図書館の使い方、「はてな(?)」の問い作り、課題解決の様々な思考ツール、まとめの方法まで、ひと通り学べるようになっています。



【調べ学習お助け隊】

調べる学習のスタートは、知的好奇心です。「はてな(?)」の解決のために、アキシマエンスの司書(専門家)の皆様が、お手伝い(シファレンス)していただきます。夏休み中にぜひ活用しましょう。



【まとめる・伝える】

最後に、分かりやすく伝えることが重要。テーマを決めたきっかけや調べながら感じたこと、大変だったこと、うれしかったこと、思わぬ発見、感想など、言葉を選び、自分の考えをまとめましょう。



【実験や観察で調べる】

情報収集は、本だけでなく、実際に見たこと、聞いたこと、試してみたこと(実験・観察)など、自分が経験することで調べることが大切です。それらを裏付ける根拠として本を活用するのもよいでしょう。



【電子書籍で調べる】

とはいえ、図書館への往復が心配な子は、必ず保護者の方と一緒に行ってください。安全第一です！ 自宅に居ながら電子書籍を貸出・返却することができ、便利に活用することができます。



【図書資料で調べる】

学校では、課題解決的な学習も限られた時間で取り組みますが、夏休みは十分な時間があります。図書館には多彩な本(資料)があります。多くの情報を活用して、自分が納得いく解決をめざしましょう。





～ 読書感想文を書く“ポイント”と“ヒント”～

- ①「よい感想文を読む」 ②「よい本を読む」 ③「読み手に伝えたいことは何か」

(1) 読書感想文を書く手順 佐賀県上峰町立上峰中学校 吉岡 晃子 先生 より

- 手順1 学校図書館で本を選ぶ
手順2 本を読む
手順3 項目ごとに分けて書く 次の★をそれぞれ別の原稿用紙に書いてみよう。
★ 初めて知ったこと、意外だったことを書く。
★ 自分の体験と本の内容を結びつけたり、比べたりして書く。
★ その本を読んで気付いた自分の気持ちや気持ちの変化を書く。
★ その本の主題を考えて書く。
手順4 文の構成を決める 手順3で書いた原稿用紙を、順番を変えながら並べてみる。書き出しにはどれをもってきてもよいが、「主題」を最初に置くと勢いが出ることが多い。また、最初に「主題」を置くと、最後にもう一度繰り返して強調することもできる。

(2) 感想文は「心の成長の記録」です！ 兵庫県豊岡市立神美小学校 校長 齋藤 恭子 先生 より

- 1 まず、紙と鉛筆を用意して、本の表紙をじっくり見ましょう。そして、感じたこと、発見したことをメモします。つぎに裏表紙も見ましょう。ここでも何か感じたらメモします。
- 2 それから本を開きましょう。もう一度ゆっくり読み返しながら、心に浮かんだことをどんどん用紙に書きます。「へえ、そうなんだ」「どうして?」「困ったね」「自分ならどうする」
- 3 書き上げたメモを分類（疑問、感動、発見、想像、反省、期待…）し、書きたいことを中心（この感想文のテーマとなる）を決めます。
- 4 テーマを核にして、文章の構成を考えます。
- 5 下書きを音読しながら推敲（もっと適切な言葉・表現はないか、文末表現はどうか、接続詞は適切か…）し、前書きと後書きを考えます。
- 6 募集規定（字数、書き方など）に合わせて点検し、清書します。

(3) 読書感想文 楽しんで攻略 宮川俊彦氏 朝日新聞 平成24年7月28日「子供の本棚」より

- 感想文に決まりはない。ただ、文章にはいろいろな工夫ができる。ぼくは、30年くらい前から、「な・た・も・だ」を使ってみようと言ってきた。「なぜなら」「たとえば」「もしも」「だから」の順に文章を書いて、最後に自分の意見をはっきりと記す。これは、あくまでも書き始めるためのヒントである。たとえば、
- ・物語の主人公を、自分に置きかえてみる。自分を客観的に捉えると、表現方法が豊かになる。
 - ・感想文に適している本は、繰り返して読み返した本だ。
 - ・読んで面白くなくても、「何だこれ」と疑問が浮かんだ本の方が書きやすいことだってある。
 - ・親は指導ではなく鑑賞者になろう。私はこう思ったと、子どもが分析するのを手伝ってほしい。

(4) 書き出しや題名の工夫 本校 学校図書館スーパーバイザー 藤田 利江 氏 より

感想文は、本の紹介文ではありません

書き出しを工夫すると読み手を引きつけます。

題名が感動を伝えます。効果的な題名を！！

【書き出し】

- A) その本を選んだ理由から書く。
- I) 身近な人の会話から書く。
- U) 一番心に残ったことから書く。

【題名】

- A) 一番言いたいことを短くまとめる。
- I) 心に残った言葉で表す。
- U) 言いたいことのキーワードを見つける。

令和4年度 図書館を使った 調べる学習 に挑戦!

学びの大航海へ ～作品づくりのポイント～

全員参加

調べる学習コンクールは、一人一人が船長になって大海を旅する「学びの大航海」です。

(1) テーマを考える ふじみ探求ノート No.10～

- 調べるテーマは自由! テーマはなんでもかまいません
最初に「調べようと思った理由」や「きっかけになった体験」を書きます。「なぜ」「どうして」身近な疑問や不思議に思うことなど、テーマを決めましょう。調べ学習のいちばん大切なスタート地点です。
- テーマを変えてもだいじょうぶ!
調べてみたけれど…、「難しかった」「かんたんすぎた」「興味がなくなった…」、ということもよくあります。そんなときにはテーマを変えてみてよいのです。
- テーマを探しに市民図書館に行こう!
テーマが見つからないときは、図書館に行ってみよう。『調べ学習お助け隊』(図書館司書)がみなさんを待っています。自分では気付かなかったテーマとの出会いが、きっとあると思います。

New!

(2) 調べる ふじみ探求ノート No.15～

New!

- 1) 市民図書館や学校図書館の図書で調べる。
- 2) 学校のタブレットを活用して、『市民図書館電子書籍サービス』で情報を集める。
- 3) 見る、聞く、試してみる(実験・観察)など、自分が経験することで調べる。
- 4) 専門家や経験者に尋ねたり、アンケートを行ったりする。

調べるときの注意 ふじみ探求ノート No.1～

- ① 情報源は何か? 著作権は大丈夫? 作品には調べた本を必ず書いておきましょう。
- ② 個人情報に注意 作品に人の顔の写真を貼ったり、聞き取ったお話を書いたりする場合には、「作品に載せてもいいですか?」と本人の許可をとりましょう。
- ③ 調べた図書館は? 多くの方が図書館を使うようになるために「どこの図書館で資料を探したのか」を教えてください。もちろん、学校図書館でもOK!

(3) 整理して「ふじみ探求ノート No.20～」 まとめる「ふじみ探求ノート No.25～」

- 1) 自分の発想でまとめてみよう!
応募される作品は、「もくじ」や「見出し」がある「本」のようにまとめた作品が多いです。でも、調べたことをマンガや物語などで表現する人もいます。みなさんの得意技や自由な発想を活かした作品づくりを楽しんでください。調べた方法、調べてわかったことを整理します。
- 2) 調べた「道のり」をまとめよう!
学びたいことを自由に学んで、みんなに作品として知らせる。これが調べ学習です。でも、みなさんの作品を読む人は、みなさんが「どうしてこのテーマを学んだのか」「どうやって学んだのか」について知りたいと思っています。テーマを決めたきっかけや調べていくなかで感じたこと、大変だったこと、うれしかったこと、思わぬ発見、感想、そんな調べた「道のり」を審査の先生方は読んでみたいと思っています。

(4) 出品しよう

応募方法 学校を通して応募
主催 公益財団法人 図書館振興財団



まとめ方の例
ふじみ探求ノート No.27

<まとめの目安>

サイズ: 低学年 本校独自の規定 B4 サイズ
高学年 本校独自の規定 A4 サイズ
その他 返却不要の場合は主催者の規定通り

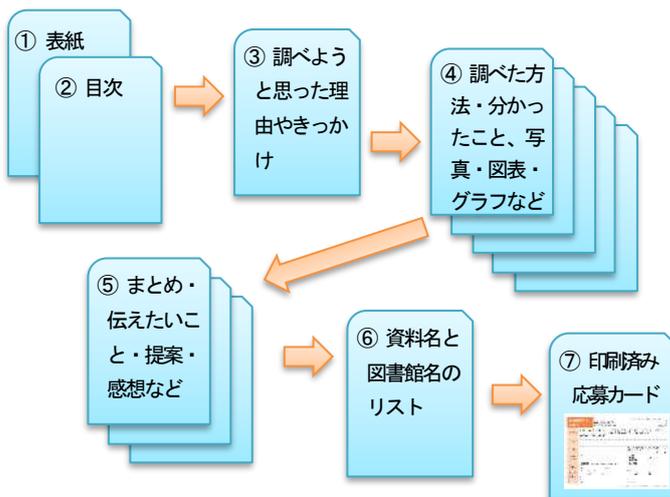
本編のページ数: 50 ページ以内

(目次、参考文献一覧を除く)

※ 天気の記録や観察日記など、集めた情報がたくさんある場合は、「本編」のほかに、集めた資料をまとめた部分を「別冊」として応募することができます。

<必ず書くこと>

調べたときに利用した資料名と図書館名のリストを必ず巻末に付けてください。



タブレット端末による「市民図書館電子書籍」の利用

令和4年7月から児童の1人1台タブレットでも、昭島市民図書館の電子書籍サービスに簡単にアクセスできるようになりました。

電子書籍って？

市民図書館の貸出券があれば、図書館に行かないでも、学校や家庭で、タブレット等を使って電子書籍を読むことができます。

何ができるの？

- 1 学校の学習で、電子書籍を読書や調べ学習に活用できます。
- 2 学校でも家庭でも、タブレットで利用することができます。
- 3 家庭の端末（パソコン等）でも利用することができます。

〔貸出券〕がない人は、学校か市民図書館に問い合わせして下さい。



電子書籍を借りると

学校でも利用

持ち運び

家庭でも利用

不要



どうやって使うの？

タブレットの「お気に入り」から「電子書籍サービス」を選択して、**個人の貸出券のID・パスワードでログイン**します。



- 〔貸出〕 ○ 貸出点数 … 1人2点まで
- 貸出期間 … 15日間（期限が切れると自動的に返却措置）
- 〔予約〕 ◇ 予約点数 … 1人2点まで（貸出中の書籍のみ予約可）
- ◇ 取置期間 … 6日間（書籍が確保できても通知は届きません）
- 〔延長〕 □ 延長回数 … 1回（予約が入っていない場合のみ可）
- 延長期間 … 15日間（延長ボタンを押してから）

※ 家庭の端末（パソコン等）では、市民図書館に直接アクセス ⇒ ⇒



電子書籍のメリット・デメリット

（メリット）

居ながらに貸出・返却・予約ができるので、重い本を持ち運ぶ必要がなく、時間短縮とともに、多くの本に触れ合い、読書の幅を広げることができる。拡大縮小や読み上げ機能で多様な活用ができる。

（デメリット）

司書の相談や実際の本に触れながら探せない。図書館の空気感や紙本来の質感を味わえない。使い方により目の疲れ、視力低下等が心配される。ページをめくるのに時間がかかる。本のように手に持って読書はできない（重い）。

本校での活用方針

（読書）

児童が、生涯に渡り読書に親しむ習慣や、感性・情緒の基盤としての言語能力を育むために、紙の本の香りやページをめくる感覚など、紙本来の質感を味わいながら五感で活字を楽しむとともに、対面での読み聞かせなどをこれからも大切にしていきます。

（調べ学習）

情報があふれる時代において、必要な情報を、信頼のおける媒体から取捨選択する力を育むために、紙の図書を中心としつつ、安全に素早く手に入れる手段として電子書籍も適切に活用していきます。